

3. 藻場・干潟の保全の取り組み

(1) 近年の公共事業による藻場・干潟の修復

失われた藻場・干潟を修復するために、国土交通省、水産庁にて瀬戸内海環境修復計画が策定され、浅場（藻場・干潟）の修復が進められており、計画策定後、2005年～2014年度の10年間に約316haの干潟・アマモ場・ガラモ場等の修復が実施された。これは、概ね「瀬戸内海環境修復計画」の目標である20年間で約600haを達成するペースで進捗しており、更にカシメ場・ガラモ場の整備が進められている。

2005年～2009年度及び、2010年～2014年度における取り組み状況は、瀬戸内海中・西部では干潟、覆砂及び養浜等が、瀬戸内海東部ではガラモ場等の修復が多く進められている。

(図7)

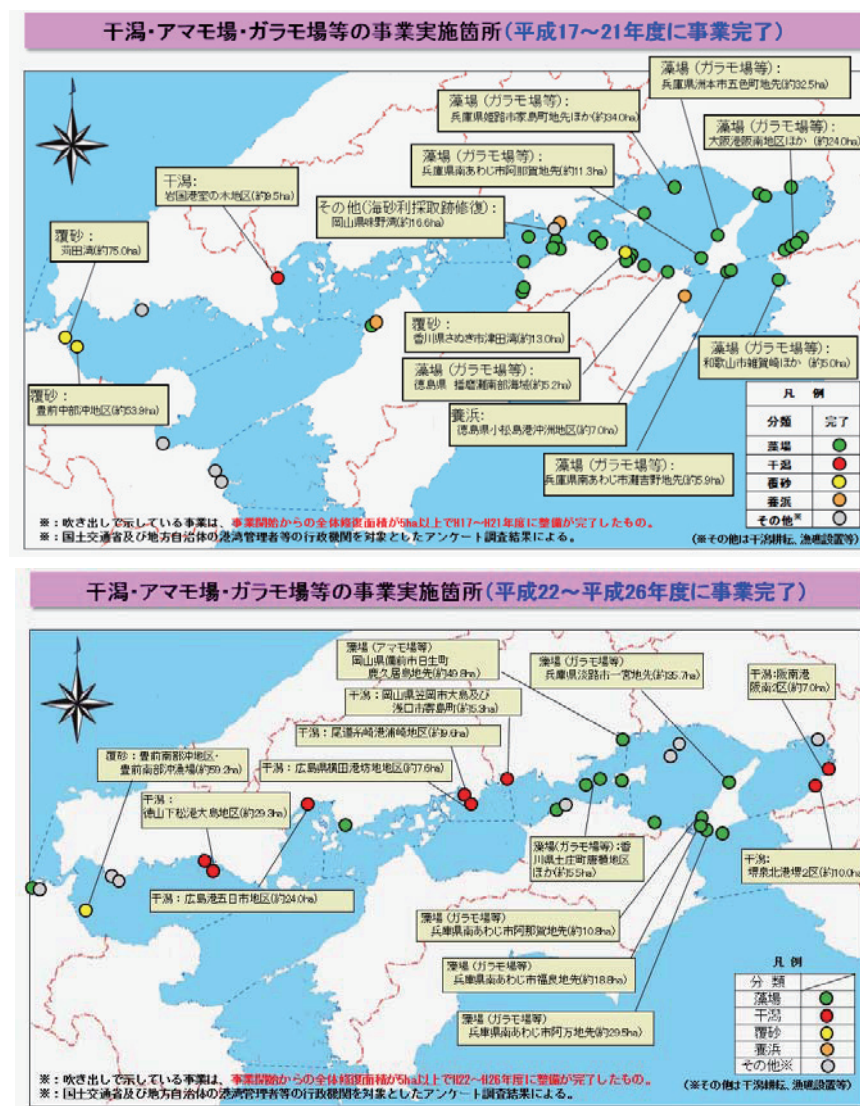


図7 瀬戸内海環境修復の取り組み状況と主要事例

(出典 瀬戸内海環境データベース)